

授業科目の概要

(2023年度実施内容。2024年度には一部変更の可能性があります)

▶ 共通科目

看護理論特論 担当: 安齋 ひとみ

看護学の発展に寄与する看護理論について必要な知識を学ぶ。概念開発と看護理論の特徴、哲学的背景と理論の変遷について学び、看護実践の現象について看護理論から理解を深める。

看護倫理特論 担当: 川井 博義

技術の進展が著しい現代の医療現場において、医療従事者が直面するさまざまな倫理的問題に対し、自ら多角的に考え、解決を模索するための力を養う。講義だけでなく、発表・議論の時間を設けることで、問題に気づく力、自分自身の見解を提示する力を身につける。

看護研究方法論 担当: 風間 眞理 / 福田 美和子

看護研究における意義を理解し、基本的な知識を修得する。文献レビューおよびクリティークを行い、エビデンスのある研究から研究方法を考察する。研究者として研究倫理を理解する。

生涯発達心理学 担当: 真柄 希里穂

乳幼児から高齢者までの発達課題(社会・文化・歴史的文脈の中に埋め込まれたもの)の捉え方、および心理的支援について学ぶ。人生の各ライフステージの特性についての事例を紹介し、生涯にわたる心の変容について考察する。

保健統計学(基礎) 担当: 藤井 仁

対面授業

看護研究、疫学研究で用いる基本的な統計学の手法についての理論と実際を学ぶ。健診データ、アンケートデータなどのダミーデータを分析し具体的な分析手法を理解する。

保健統計学(応用) 担当: 藤井 仁

対面授業

保健統計学(基礎)の内容をふまえ、研究で集めたデータの解析方法や論文としてのまとめ方を学習する(STROBE 声明、CONSORT 声明などを参考にする)。

コンサルテーション理論 担当: 蔵下 智子

対面授業

臨床心理学の視点から、自分自身を振り返り、自己理解、他者理解を深めていく。また、人との関わり方、話の聞き方、伝え方のスキルをロールプレイや実習を通して学び、コミュニケーション力を身につけ、コンサルタントとして、コンサルティが持っている力を最大限生かせるようなコンサルテーションができることを目標としていく。

地域社会学特論 担当: 新 雅史

地域間・階層間格差や地域社会の解体、公共性としての地域社会の形成などの問題を基に、地域社会学の研究手法を概説。公共性としての地域社会形成に関わる応用・臨床社会学的研究について論じる。

医療マネジメント特論 担当: 熊川 寿郎

授業の目的は、医療機関のトップリーダーに期待されるマネジメント能力を身につけることである。今日看護職はトップリーダーの一員として活躍することが期待されている。具体的には①医療制度・政策、②SR・SDGs(社会的責任・持続可能な開発目標)、③戦略マネジメント、④人材育成、⑤Z世代のコミュニケーションに焦点を当て理解を深める。

国際援助論

日本における国際援助・協力の変遷や具体的な援助方法について実践に基づく事例を検討し、国際社会における国際援助・協力の基本的概念を理解した上で、看護職が果たすべき貢献についてグローバルな視点で考察を深める。

▶ 専門科目 看護マネジメント学分野

看護マネジメント学特論1 担当: 高橋 幸子

国民に質の高い看護を提供するために、看護制度・政策は不可欠である。看護制度・政策の臨床現場における影響など身近な問題を通して政策過程に目を向け、看護と社会システムとの関連を探究する。

看護マネジメント学特論2 担当: 小泉 仁子 / 末永 真由美

医療施設において質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識を学ぶ。認定看護管理者を外部講師として招き、経営管理の視点に立ったマネジメントについて学ぶ。

看護マネジメント学特論3 担当: 辰島 美佐江

看護基礎・卒後・継続教育の諸問題を社会情勢や制度、法的側面から探究し、各々の教育の質を向上させるための方策を学修する。

看護マネジメント学演習 担当: 辰島 美佐江

保健医療、看護教育などにおける組織やキャリアマネジメントについて学ぶ。それぞれの研究疑問、課題に関連する文献などを多角的に分析する。

▶ 専門科目 コミュニティ看護学分野

コミュニティ看護学特論1 担当: 安齋 ひとみ

コミュニティで生活している個人・家族・集団およびコミュニティの組織を対象とするさまざまな研究手法について学び、コミュニティを対象とする研究論文のクリティーク視点、コミュニティ看護研究の特色とさまざまな研究方法の特徴を学ぶ。

コミュニティ看護学特論2

担当: 大宮 裕子 / 大園 康文

対面授業

コミュニティで生活する人々およびその家族の健康問題の特性と社会資源や支援システムを活用したケアの連続・継続について学び、これからのコミュニティ看護について検討する。

コミュニティ看護学演習1 担当: 風間 眞理

Mental disorderまたはMental healthに関連した国内外の文献から我が国における精神疾患を抱えている人の現状および今後について探究する。また、自己の研究課題をフィールドワークで得た知見から明確にする。

コミュニティ看護学演習2 担当: 糸井 志津乃

あらゆる人々の健康問題と健康支援について学ぶ。個々の研究課題との関連もふまえ、健康教育に関連する理論、ライフサイクル別に国内外の社会的環境と健康問題の動向、看護活動の場での健康問題と健康支援について学修する。

ハイブリッド型授業の実施

本学では、対面・遠隔を併用したハイブリッド型で授業を実施しています。**対面授業** マークの授業は、原則、対面のみで実施しますが、場合によっては遠隔で実施することもあります。

▶ 専門科目 ウィメンズヘルス看護学分野

ウィメンズヘルス看護学特論1 担当: 小泉 仁子

ウィメンズヘルスケアとEvidence based Health Careについて、看護援助の実際を通して学修する。周産期の母子を中心に、女性の健康支援や親になる過程への支援のあり方について検討する。

ウィメンズヘルス看護学特論2 担当: 久保 恭子

女性の健康問題について、生物学的、心理社会・文化的視野から捉える。また、日本および世界各国の保健統計などからウィメンズヘルスの水準と課題を明らかにし、女性の権利擁護と女性中心のケアのあり方を学ぶ。

ウィメンズヘルス看護学演習1 担当: 小泉 仁子

女性のライフサイクルに起こる健康問題を明らかにする。思春期や更年期の健康問題を家族システムの中の母子関係や世代間伝達などの関係性に着目し、多面的な視野からのアプローチを考えることを学修する。また、女性の健康支援や課題の中から、自己の研究課題の発見と研究計画ができることを目標とする。

ウィメンズヘルス看護学演習2 担当: 小泉 仁子 / 藤田 佳代子

現在の子育て環境や親のメンタルヘルスの実際、親のニーズなどの研究動向から、子育て期の女性および家族の現状と課題について明らかにし、必要な支援について考察する。また、特別なニーズを持つ子育て期の家族の特徴と支援について学修する。

▶ 専門科目 特別研究

特別研究(看護マネジメント学分野)

看護マネジメント学分野の研究の論文指導を行う。文献検索、研究計画書の作成、データ収集、データ分析、結果の考察という看護研究を実施するために必要なプロセスを、段階を踏みながら指導する。

特別研究(コミュニティ看護学分野)

コミュニティ看護学分野の研究の論文指導を行う。文献検索、研究計画書の作成、データ収集、データ分析、結果の考察という看護研究を実施するために必要なプロセスを、段階を踏みながら指導する。

特別研究(ウィメンズヘルス看護学分野)

ウィメンズヘルス看護学分野の研究の論文指導を行う。文献検索、研究計画書の作成、データ収集、データ分析、結果の考察という看護研究を実施するために必要なプロセスを、段階を踏みながら指導する。

カリキュラム (修了要件: 30単位以上)

科目名	単位数		配当年次	備考
	必修	選択		
看護理論特論	2		1	(1) 共通科目の中から必修科目8単位のほか、2単位選択必修
看護倫理特論	2		1	
看護研究方法論	2		1	
生涯発達心理学		2	1	
保健統計学(基礎)	2		1	
保健統計学(応用)	2		2	
コンサルテーション理論 ◆	2		1・2	
地域社会学特論	2		1・2	
医療マネジメント特論 ◆	1		1・2	
国際援助論	1		1・2	
看護マネジメント学特論1 ◆		2	1・2	(2) 専攻分野の6単位、およびそれ以外の専門科目と共通科目のうち(1)で選択しなかった科目から6単位選択必修
看護マネジメント学特論2 ◆		2	1・2	
看護マネジメント学特論3 ◆		2	1・2	
看護マネジメント学演習 ◆		2	1・2	
コミュニティ看護学特論1		2	1・2	
コミュニティ看護学特論2		2	1・2	
コミュニティ看護学演習1		2	1・2	
コミュニティ看護学演習2		2	1・2	
ウィメンズヘルス看護学特論1		2	1・2	
ウィメンズヘルス看護学特論2		2	1・2	
ウィメンズヘルス看護学演習1		2	1・2	専攻分野の8単位選択必修
ウィメンズヘルス看護学演習2		2	1・2	
特別研究(看護マネジメント学分野)		8	1~2	
特別研究(コミュニティ看護学分野)		8	1~2	専攻分野の8単位選択必修
特別研究(ウィメンズヘルス看護学分野)		8	1~2	

◆印は認定看護管理者の認定審査受験に必要な内容を含む科目。詳しくは看護学研究科までご相談ください。

履修スケジュール例 (看護マネジメント学分野1年次の場合)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	9:30 ~ 11:00					コンサルテーション理論 生涯発達心理学
2	11:10 ~ 12:40					保健統計学(基礎)
3	13:30 ~ 15:00	※平日第1~5時限は看護学専攻の授業はありません。				
4	15:10 ~ 16:40					
5	16:50 ~ 18:20					
夜1	18:30 ~ 20:00	特別研究	●医療マネジメント特論 ●看護研究方法論	看護マネジメント学演習	地域社会学特論	看護マネジメント学特論2
		特別研究		看護マネジメント学演習		
夜2	20:10 ~ 21:40		●医療マネジメント特論 ●看護研究方法論	看護マネジメント学特論3	看護理論特論	看護倫理特論
				看護マネジメント学特論1		

●…春学期 ○…秋学期

●2時限続きでセミクォーター(学期を前・後半に分けて、それぞれ連続して実施する授業)